## 神戸市少年団登山教室活動(6月17日)報告

- 1. 参加者 教室生 19名 岳連理事 8名 クライミングスタッフ 1名 大学生ボランティア 1名 加盟団体会員 1名 研修所関係者 3名
- 2. 記録 天気:晴れ

12:45 神戸登山研修所 集合

13:00 本日の活動の注意後、座学「読図」(50分)

(3階大集会室)

14:10 クライミング(ボルダリング、ロープクラ

イミング各50分)体験

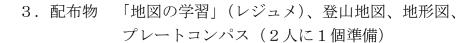
2 グループに分かれてボルダリング (2 階)、ロープクライミング (屋外) を体験 する。(途中、交代準備や休憩時間約15

分を入れる)

15:55 クライミング体験終了

16:10 活動終了後の全体会(3階大集会室)

16:20 解散





- 4. 活動内容 座学のテーマは「読図」。登山地図や地形図などを示して地図の説明をする。実習では地図上でプレートコンパスの使い方を学んだ。クライミングではボルダリングとロープクライミング(トップロープクライミング)を体験する。ボルダリングは2階ボルダールーム、ロープクライミングは屋外のピラミッドウオール、人工岩壁を登った。暑い日だったので熱中症に注意を払いながらの活動だった。
- 5. 感想 少年団登山教室の山行以外の活動として座学とクライミング体験を行った。座学は

登山で身に着けるべき知識の一つとして「読図」を学習する。磁北と真北、等高線の性質など地図の基本的な内容を学ぶ。また地図の上でプレートコンパスを使って目標への方向を見つける作業をする。教室生にとっては難しい作業だった。これらの事はすぐに身に着くものではない。今後の少年団登山教室山行の中で地図を読むことによって慣れてもらえたらと思う。



クライミングでは特に屋外のロープクライミングの暑さ対策に最大の注意を払った。 初めて登る教室生はなかなか登れない。途中で力つきロープにぶら下がって降りてくる 教室生も多数。それでも再チャレンジで壁を登る。みんな楽しそう。

この日は梅雨の中休みで雨の心配がないのはありがたいが蒸し暑く気温は30度くらいになったと思う。熱中症対策として作業用の大型扇風機2台、タープ、経口補水液、麦茶、氷などを準備。教室生にはクライミング時以外はタープの下に入る、飲料水はマメに摂ることを注意した。幸い体調を崩す教室生もなく全員元気にクライミングに挑戦した。楽しんで登っている教室生の姿を見るのは嬉しい。

気になった事の一つとしてクライミングの時間が少し短く感じたことである。今年初めてのクライミング体験でクライミングシューズ合わせやハーネスを着けるのに時間がかかった。次回は2回目なのでもう少し早くできたらと思う。

今回、この登山教室を午後に回したのは昨年の反省からである。昨年は午前中に登山教室を実施した。研修所の人工岩壁は東向きに建っていて午前中の直射日



光が当たる。そのため岩壁が熱くて触れられず人工岩壁の使用を取り止めた。今年は午後に登山教室を持ってきって人工岩壁に直射日光が当たらず良かったと思う。ただ、午後の方が気温は高かった。次回の7月8日(土)はもっと暑くなると思われるので熱中症対策に引き続き注意を払いたいと思う。

(文責 大西)